

十勝【浦幌町】

きたむらりんぎょうじょしぶ
北村林業女子部

北村林業株式会社（浦幌町）で林業作業員として働く女性たちで結成。林業の楽しいところやきついところなど普段の姿をインスタグラムで発信するほか、若者の林業就労促進に向けたイベントに積極的に参加するなど、十勝管内の林業女子のパイオニアとして活躍。



(左から) 土田瑞恵さん、伊藤涼香さん、岡島春明さん、大西紗椰さん



チャレンジ精神旺盛な「林業女子」が現場で活躍！

きっかけ

土田さんは、体を動かすことやキャンプ等のアウトドアが好きだったので、自然の中で体を動かす仕事がしたいと思っていました。大西さんは、高校の修学旅行で京都府の北山杉を見た時、まっすぐでもきれいだっただことに感動し林業に関わる仕事をしてみたいと思うようになりました。岡島さんと伊藤さんは、高校で林業を学んでいて実習が楽しかったので、林業分野での就職を決めました。実際に働いてみると、年配の男性が多い職場でやっていけるか不安もありましたが、先輩方は優しく長い目で見て仕事を教えてくれるので、チャレンジしてみて良かったと思っています。

苦勞

力仕事がメインなので、体力面が一番大変です。筋力も必要で、重い物を持ちながら山の中を歩いて作業することが多く、女性の方では周囲について行くのが必死です。就職して1年目は、体の色々な所が痛くなり、続けていって大丈夫なのかと悩みました。また、重機に乗って作業するときは、様々なボタンや部品の名前を覚えるのも苦勞しますし、自分の前後で作業をする人がやりやすいように考えながら動くことを心がけています。あと、早朝6時に出勤するので、早起きが大変です（笑）。

満足度

弊社では、主に造林と造材の2つのチームに分かれています。造林は、木材となる木を育てる仕事で、苗木を植え、雑草や不要な樹木を刈り取り、森を育てていきます。まっさらな土地に苗木を植え付けしたとき、苗木がきれいに並んで景色がガラリと変わることが一番嬉しいです。造材は、木を切って暮らしの中で使われる木材を作る仕事で、木材を同じ長さに切り揃える「玉切り」では、切りくずの量を見て一日の成果がすぐにわかるので、達成感を味わえます。同じ作業でも自分なりのやり方を見つけて、うまくできるようになることにもやりがいを感じています。

これから

これまでは、伐採後の土地に散らばった枝葉を片付けたり雑草を刈ったりする「地ごしらえ」や、苗木を植えた後の数年間、生育の妨げになる雑草を刈り取る「下刈り」など、主に造林に変わる仕事をしてきましたが、これからは造材の仕事もやってみたいと思っています。機械にも乗ってみたいし、機械作業もどんどん覚えていきたいです。将来的には、造林と造材の両方の人力作業、機械作業を一人前にこなせるようになることが目標です。「女性だから…」と遠慮せず、どんなことでも自分から積極的に取り組んでいきたいと思っています。

北の★女性たちへの
メッセージ

やってみたいことや気になることがあれば、まず挑戦してみてください。何事も積極的に取り組んで、色んなことにチャレンジしてみましょ。林業の仕事は、やる気、根性があればできる仕事だと思うので、興味があれば思い切って飛び込んでみてください。一緒に頑張りましょう！

オホーツク【北見市】

かのまた ゆりこ
鹿又 百合子さん Id. DESIGN-OFFICE 代表

1974年生まれ、北見市出身。札幌大谷短大卒業後、北見市内の印刷会社へデザイナーとして就職。23歳で結婚退職し、在宅ワーク開始。出産後に北見市内の広告代理店に再就職、2012年4月に退職しId.DESIGN-OFFICEを設立。2017年に起業支援「ワタシプラス」設立。



人が好き! デザインも起業も「ワタシらしく」をお手伝い

きっかけ

子どもの頃から絵を描くことが好きで、将来はデザインの仕事をしたい、絵を子ども達に教えたいと思っていました。短大にて美術教諭の免許を取得し、就職はいつか独立するためのノウハウを学びたく、印刷会社へ。私は、お客様の思いや背景をお伺いしてデザインに活かしたい、お客様の大切な仕事のツールとなるためどんなデザインや広告が有効かとことん考え、形にしています。様々な相談を受け経験や価値観を伺ううちに、人生をデザインするお手伝いがしたいと思い「らしく働くお手伝い ワタシプラス」を設立。また、自分で創り出す楽しさを知ってもらいたく、「オトナ女子のお稽古サロン」も始め、多くの人と出会う毎日を送っています。

苦労

勤めていた時は子ども達がまだ小さく、「やりたい仕事、夢だった仕事」なのに育児との両立に悩みました。夕方子ども達を保育園等に迎えに行き、夕飯を済ませ、夫が帰宅したらまた会社に戻るという生活…弱音を吐いたら「じゃあ辞めたら?」と言われてそうで誰にも相談できませんでした。私も家族も限界を感じ、夫と両親に相談。話し合った結果、家族が私の気持ちを応援してくれ、さらに協力してくれるようになりました。子ども達にも「ありがとう」や「ごめんね」を伝えるようにしました。家族であっても言葉にして伝えようと反省、今では感謝しかありません。

満足度

デザイン業では、お客様から感謝の声をいただくことが一番嬉しいです。起業支援では、相談者様の人生の生い立ちからお伺いすることが多く、本当に様々な経験をされて悩まれていた方が、お話ししていくうちにご自身のやりたいことや方向性に気づき、明るい表情で前向きになっていただけると、喜びを感じます。また、2018年に経済産業省の第1回女性起業家支援コンテスト総合部門で最優秀賞を受賞させていただき、これまでの自分の活動を評価していただけたことがとても励みになりました。

これから

一番やりたいことは、子どもたちへのキャリア支援です。現在、北見市内の定時制高校での講演や、インターンシップの受け入れ等を行っています。もっと学生と多く触れ合って、自己肯定感を高めて夢を持つ人になれるよう支援したいです。また、女性の起業支援も続けていきたいです。どこに住んでいても、どのようなライフステージでも、私らしさに気づき、夢を膨らませ、私らしく生きる(働く)ことができる女性達を増やしていきたい。「ワタシらしく」輝く女性が増えることは、何にも変えられない重要な地域資源になると思っています。

北の★女性たちへの
メッセージ

時々、孤独に感じることはないですか? 「どうせ私なんて」と思っていませんか? 「ひとりじゃないよ!」「出来そう!という気持ちが成功に繋がる!」それでも、悩んだり立ち止まった時には、ぜひお気軽にお声をかけてくださいね!